※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　学　看護総合科

教科	学　看護総合	科目	(学)看護数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	看護医療学校受験 オープンセサミシリーズ問題集アクセス②　数学Ⅰ・A （東京アカデミー七賢出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次の数学Ⅰと数学Aの復習を行う科目です。
・基礎的・応用的な問題に取り組みます。１年次や２年次に培った力をいかしましょう。
・問題集用のノートを用意してください。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく，途中式や考え方も書くようにしましょう。また，各自答え合わせをしてください。答え合わせは，自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。家庭学習における課題は，定期的に提出してもらいます。
・１年次や２年次に使用した教科書や問題集、ノートも参考にしてください。

2　学習の到達目標

①数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析，図形の性質，場合の数と確率について、基礎的な知識や技能を身につけるようにする。
②事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにする。
③数学と人間の活動の関係について認識を深めるとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，二次関数，データの分析及び図形の性質，場合の数と確率における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学と人間の活動の関係について認識を深め，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力や図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学Ⅰ 第1章 数と式	1 整式とその計算 2 因数分解 3 実数と平方根 4 式の値 5 １次方程式と１次不等式 6 絶対値を含む方程式・不等式 7 集合 8 命題の真偽、必要・十分条件 9 逆・裏・対偶と証明	a:乗法公式，因数分解の公式で複雑な式が簡単に帰着できることを理解するとともに，式を目的に応じて変形することができる。簡単な絶対値，平方根の計算や循環小数で表すことができる。一次不等式の解を求めることができる。 b:実数の大小関係と数直線を関連付けて考察することができる。不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c:対称式の求め方に興味を示し，自ら考察しようとする。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
	数学Ⅰ 第2章 2次関数	1 ２次関数とグラフ 2 ２次関数の最大・最小 3 ２次関数の決定 4 ２次方程式 5 ２次関数と２次方程式 6 ２次関数と２次不等式 7 いろいろな最大・最小問題 8 ２次方程式の解の配置 9 絶対値記号を含む関数	a:二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており，平行移動を利用して二次関数のグラフを描くことができる。二次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し，最大値や最小値を求めることができる。二次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し二次方程式･二次不等式の解を求めることができる。 b:二次関数の決定において，条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。日常や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり考察することができる。 c:二次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち，それらを二次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	数学Ⅰ 第3章 図形と計量	1 三角比の値 2 三角比の相互関係 3 正弦定理と余弦定理 4 三角形の面積 5 空間図形への応用	a:鋭角や鈍角の三角比の意味と相互関係を理解している。正弦定理，余弦定理を理解し，それを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 b:図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，その性質や相互関係を考察することができる c:三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心をもち，事象の考察に活用しようとしている。正弦定理や余弦定理の有用性を認識し，平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
	数学Ⅰ 第4章 データの分析	1 データの分布と代表値 2 データの散らばりと四分位数 3 分散と標準偏差 4 データの相関	a:データの分析における基本的な概念，原理・法則などを理解し，分散及び標準偏差の知識を身に付けている。 b:散布図や相関係数などを用いてデータの傾向を捉え，それらを的確に表現することができる c:分散及び標準偏差などを用いてデータの傾向を把握し，事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
	数学A 第5章 場合の数と確率	1 集合の要素の個数 2 和の法則と積の法則 3 順列 4 組み合わせ 5 確率とその基本法則 6 独立試行と確率	a:和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。順列や組み合わせの公式を理解し，利用することができる。確率の意味，試行や事象,積事象，和事象の定義を理解している。 b:ベン図を利用して集合を図示することで，集合の要素の個数を考察することができる。集合の性質を用いて，確率の性質を一般的に考察することができる。 c:集合を考えることで，日常的な事柄などを，集合の要素の個数として数学的に数えようとする。また,順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	数学A 第6章 図形の性質	1 三角形の辺と角 2 三角形の重心・内心・外心 3 円の性質	a:線分の内分・外分，平行線と比や三角形の外心，内心，重心などの定義，性質を理解している。正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 b:図形の性質を証明するのに，既習事項を用いて論理的に考察することができる。また，適切な補助線を引いて考察することができる。空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを，与えられた条件から考察することができる。 c:三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を，論理的に考察しようとする。空間における図形の位置関係について，積極的に考えてみようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート
3学期	数学A 第7章 整数の性質	1 約数と倍数 2 最大公約数・最小公倍数 3 整数の割り算と商・余り 4 ユークリッドの互除法と不定方程式 5 記数法	a:素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 b:問題解決の過程を振り返って，割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 c:日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度